

平成29年度那珂市総合防災訓練に関するアンケート集計結果

問1. 参加者について

Qお住まいの地区

- ・神崎地区 16人
- ・額田地区 2人
- ・菅谷地区 136人
- ・五台地区 49人
- ・戸多地区 27人
- ・芳野地区 48人
- ・木崎地区 11人
- ・瓜連地区 40人

Q性別

- ・男性 206人
- ・女性 123人

Q年齢

- ・10代 3人
- ・20代 2人
- ・30代 10人
- ・40代 34人
- ・50代 39人
- ・60代 105人
- ・70代 106人
- ・80代以上 30人

Q参加形態

- ・個人 47人
- ・家族 38人
- ・自治会 231人
- ・その他 13人

問2. 今回の総合防災訓練は役に立ったか。

- ① 役に立った 294人
- ② 役に立たなかった 15人

③ わからない 20人

問3. 役に立った点・役に立たなかった点

○役に立った点

- ・人工呼吸及び心臓マッサージの方法
- ・AEDの使用法
- ・応急救護訓練
- ・一時避難場所及び連絡体制の見直しが必要であることがわかった
- ・災害時の流れがわかった
- ・煙体験、煙の怖さがわかった
- ・消火器の使い方
- ・アルファ米の調理方法
- ・町内会の意志統一がはかれた、まとまった
- ・防災に関する意識が高まった
- ・避難経路と所要時間、段取り等が理解できた
- ・隣近所の人たちとの交流になった

○役に立たなかった点

- ・参加者が少なかった
- ・サイレンやアラームを鳴らしたほうが、緊張感や現実感が高まるのではな

いか

- ・参加した役員と班長以外の方は内容がわからない
- ・ひだまり等も開ける対応が必要ではないか
- ・手順がわかりにくかった
- ・訓練があまり伝わっていなかった
- ・訓練内容を一考してほしい
- ・けがをした時の応急手当もやってほしい
- ・待ち時間が長いので、有効活用を
- ・非常食の調理に時間がかかった

問4. 今後はこういった規模で行うとよいか。

- ① 今後も全市一斉に行うのがよい 234人
- ② 中学校区単位やまちづくり委員会単位で行った方がよい 94人
※交互に開催・・・1人

問5. 自由記述

- ・住民の防災に対する意識の高揚を高める取り組みが必要。
- ・各組合（班）ごとに安否確認が的確にできる体制づくりが必要
- ・訓練の内容が不明だった
- ・地震の揺れを体験したい
- ・一人ひとりが防災に対する認識を常に心がけることが大切である
- ・アパートの人たちの参加がほとんどなかった
- ・もっと近くで集まれる場所を作ってほしい
- ・要支援者の避難方法がよくわからなかった
- ・将来的に抜き打ち訓練をしてはどうか
- ・自治会会員以外や一人暮らしの高齢者の確認ができていない
- ・全市一斉の人数では難しい
- ・学校の保護者等にも見てもらいたい
- ・参加する際には、家庭にある非常用持ち出しリュックを持参したり、中身をチェックして不足品の確認も必要と思う
- ・連絡方法に改善が必要と感じた